

フェアプレーを体感して 学び、実践しよう!!

いつでもフェアプレー精神を

全国の小・中学校、特別支援学校に元アスリートが訪れ、フェアプレーに元アスリートが訪れ、フェアプレー精神を広めるフェアプレースクール。今回は2018年11月1日、東京都荒川区立諏訪台中学校に元競泳日本代表の萩原智子さんを迎えて開催されたフェアプレースクールの模様をお伝えします。



フェアプレースクールは、子どもたちがフェアプレーのエピソード作文を発表したり、講師が自身の体験をお伝えします。

はじめの時間は、まず生徒を代表して、3人がエピソード作文を発表。それぞれ授業や体育祭、部活動での体験を通して、全力で戦う大切さや相手を尊重することなどのフェアプレーを学び、今後に生かしていきたいと話しました。聞いていた講師の萩原さんは、「フェアプレーへの思いは一人一人違います。そしてスポーツだけに限られた話ではなく、普段の生活でも大切にして欲しいです」と呼びかけました。

どんなときでも相手をたたえる

次の時間は、クラス対抗のゲームを通して体を動かしながらフェアプレーについて学びました。力を合わせてゴールを目指し、自チームが負



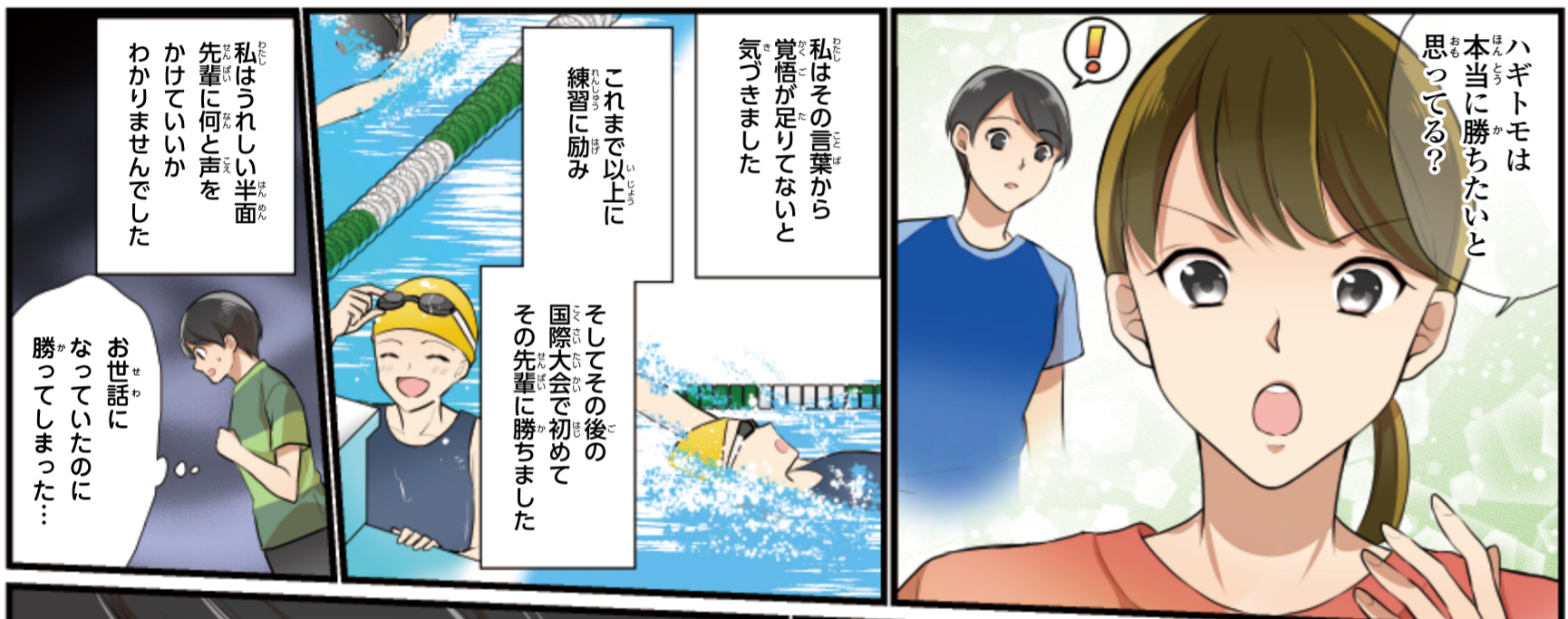
けてしまっても、勝ったチームに拍手を送ったり、おめでとうと声をかけたりする姿がありました。「どんなときでも相手をたたえ、次も頑張ろう」と言えることは素晴らしい。応援するみんなも楽しんで応援していた」と、生徒のフェアプレー精神に萩原さんも感心した様子でした。

結果を受け止め、成長の力に

最後に萩原さんから、「頑張ってきたことがどんな結果になっても、自分自身で受け止めることが成長する上で大切です。結果に対してどう向き合っていくのかを、よく考えてみてください」とメッセージが贈られました。

「強さ」と「優しさ」を大切に

元競泳日本代表
萩原智子さん



フェアプレースクールにて

「強さ」と「優しさ」

元競泳日本代表 萩原智子さん

フェアプレーに必要な気持ちって何だと思えますか？

この二つの気持ちが大切だと思います

感謝の気持ち！

向上心！

そうだね それも大切だね

私たちが成績が伸びず悩んでいた時代

ある先輩に相談したことがありました

私は「強さ」と「優しさ」

なぜ先輩に勝てないんですか？

ハギトモは本当に勝ちたいと思ってる？

私はその言葉から覚悟が足りてないと気づきました

これまで以上に練習に励み

そしてその後の国際大会で初めてその先輩に勝ちました

私はずいぶん先輩に何をかかっていいかわかりませんでした

お世話になっていたので勝ってしまった！

しかし

その先輩は強い選手と共に祝福の言葉をかけてくれたのです

おめでとう!!

自分を負かした先輩を励ませる先輩の姿から

「強さ」と「優しさ」の二つが合わさったフェアプレー精神

そしてその大切さを感じました

それをきっかけに自分もこんな選手になりたいと思いました

そしてそれを多くの人に伝えていきたいと思っています